

令和5年度 第2回竹田地区教科用図書採択協議会議事録（要点筆記）

1 国語（種目責任者・種目代表者 説明資料）

問1 全学年上巻、下巻と別れている会社と1冊にまとめている会社がありますが、双方よし悪しがあると思いますがいかがですか？

答1 調査員の中では授業の途中や振り返りをする際は上下巻と別れているほうが良いという意見になりました。ただし持ち運びが重くなる部分がありますが、学年を見通すというところでは上下巻のほうが良いという意見でした。

問2 上下巻が1冊になったらどのくらいのページ数と重さになりますか？

答2 1冊の時は、515gや520gになっています。別冊の場合は310g、350gになっています。重さを合計すると別冊のほうが重くなります

問3 国語で子どもがQRコードを使う場合すごく大事になりますか？

答3 子どもが動画を参考にしながら学べ、勉強できるのでとても有効だと思います。

問4 QRコードはすべての会社の教科書にありますか？

答4 すべての教科書で組み込まれていますが、数としては東京書籍262個、教育出版81、光村が80です。

問5 東京書籍が突出して数が多いですが、教える側として多すぎに感じませんか？

答5 子どもたちが家や授業の合間に進んで活用できるので選べるという意味でも数として東京書籍が多いというのは良いのではと感じています。

問6 会社によって教科書のボリュームに違いがありますが、それによる授業を進めるうえでそのボリュームの差は何か関係しますか？

答6 教材数で会社に差があります。1年生の場合東京書籍だと244、教育出版286、光村が260と差があります。

問7 それは授業を進めるペースに関係すると思いますが、その辺り影響などは問題にならないですか？

答7 問題になると考えています。教材数というものも選定する際の基準になると考えています。

〈 協議概要 〉 全会一致

〈 採択結果 〉 国語：東京書籍

2 書写（種目責任者・種目代表者 説明資料）

問1 東京書籍のイラストや表現がカラフルとの報告がありますが、具体的にはどのような点がそうなのか教えてください。

答1 例えば筆づかいや点画の特徴が色使いの違いにより表せている点があるように感じました。また東京書籍は日常生活に活かせるような資料が多いと思います。

問2 書写でQRコードを活用場合どのようなメリットがあるか教えてください。

答2 動画で筆の使い方がわかるため教える教師も字を習う子ども達もイメージしやすいと思います。

問3 教科書が左利きの子どもに対応しているかどうか教えてください。

答3 すべての教科書が左利きの児童にも対応しています。特に東京書籍は、写真が大きく左利きの児童も使いやすいと思います。

〈 協議概要 〉 全会一致

〈 採択結果 〉 書写：東京書籍

3 音楽（種目責任者・種目代表者 説明資料）

問1 教育出版は地元竹田市出身の佐藤義美、滝廉太郎さんが掲載されているが、豊後大野市出身の関係者はいませんか？

答1 残念ながら見つけられませんでした。教育出版は郷土大分県の教材が段階的に取り入れられていると思います。

問2 他の教科も含めQRコードを活用している教科書が多いですが、音楽の場合どのようなメリットがあるか教えてください。

答2 QRコードを活用すると、教員にとっても子どもたちにとってもこの授業で何を学ぶのかが明確であると思います。

問3 タブレットを活用した授業方法は何かありますか？

答3 タブレットを活用するとタブレット上で、ある楽器とそれとは違う楽器を組み合わせることで作曲できるので子どもたちが興味を引いてわかりやすいと思います。

問4 教科書会社が2社しかありませんが違いはありますか？

答4 教育出版は紙面が整理されて必要な情報が的確に記載されているので見やすいと思います。教育芸術社の方は比較すると少し見づらさを感じました。また教育出版は教材数が豊富で、学校や児童の実態に応じた選択ができる点もよいのではない

かと思えます。

〈 協議概要 〉 全会一致

〈 採択結果 〉 音楽：教育出版

4 算数（種目責任者・種目代表者 説明資料）

問1 東京書籍の教科書はプログラミングの単元が5・6年生しかありませんが、他の教科書会社と比較して5・6年生しか位置づけられていないというのは、6年間を通して授業するという中でどうなのかと感じましたがいかがでしょうか？

答1 プログラミング教育に関しては算数だけではなく色々な教科に渡って組み込まれています。そのため全学年にないといけないというものでもありません。主に高学年の図形の単元で出てくることが多いと思います。

問2 QRコードで見られる内容は各出版会社同じくらいの量で見ることが出来ますか？

答2 各会社共にかなり配慮しているように見られます。さほどの差異は感じませんでした。

問3 算数は6社での比較でそれぞれ長所、短所の記載が報告書にありますが、特に重要視したポイントがあれば教えて下さい。

答3 その単元で必ず大切にしたい数学の見方があります。それをどのように単元に働かせていくのかということと、学びの繋がりががあるので単元の配列なども重要視しました。

問4 ヒントが多いという記載が報告書にありますが、これは大人にとっての都合ですか？それとも子どもにとっての都合ですか？

答4 子どもの都合です。子どもの思考に沿った場合の報告書の記載内容です。

問5 ヒントが多過ぎるとするのは子どもにとって都合の悪いことですか？

答5 あまりにヒントを書きすぎていると自分で問題を見つけて解決していくことにはならないと思います。いかにそこを上手く導き出してあげて数学的な見方、考え方を引き出してあげるかということが大事であるという視点で教科書を調査しました。

〈 協議概要 〉 全会一致

〈 採択結果 〉 算数：東京書籍

5 理科（種目責任者・種目代表者 説明資料）

問1 QRコードで情報や資料提供が示されていますが、内容についてはどの教科書も同じレベルですか？

答1 教科書会社によって違います。

問2 子ども達が少し理解しにくい実験とかの情報がQRコードで見られるということによいですか？

答2 はいそうです。

問3 東書と啓林館には豊肥地区の写真資料がありますが、どんな写真がありますか？

答3 東書は豊後大野市の火山灰地層、堆積層を、啓林館は九重町の八丁原の地熱発電所の写真資料があります。それとジオパークの豊後大野市ジオパークという記載があります。

問4 東京書籍と大日本図書は、他の教科書と見比べた場合写真が大きくて、教科書全体的に余白があり字が大きいですが、そのために解説がざっくりし過ぎていたりしていませんか？

答4 ざっくりしていたほうがむしろ分かりやすいと思います。しかしページ途中のコラムで詳しく書いていたほうが良いと思います。

問5 学校図書の教科書はかなり重たいとの記載がありますが他社と比べてどのくらい差がありますか？

答5 軽いところは確か500gを切っていた教科書があったと思います。差があったとしても30gぐらいだと思います。

問6 大した問題にはならないということですか？

答6 はい。しかし他の教科の教科書もあるので全体的にはどうなのかな？とは思いました。

〈 協議概要 〉 全会一致

〈 採択結果 〉 理科：大日本図書

6 生活（種目責任者・種目代表者 説明資料）

問1 教科書と先生方が動かす活動との配列の状況はいかがですか？

答1 どの出版社もよく工夫されている印象です。若い教職員が担当しても、学習の流れが「見つける」「比べる」「試す」「見通す」「工夫する」という学習過程がしっかり組めるような配列になっているという印象です。

問2 学習のヒントや探求のヒントが色々なところがありますが、子どもが一人で学んでいくためにQRコードとの結びつきは何かありますか？

答2 それぞれの单元ごとにヒントになるような言葉かけがあり、QRコードが必ずついていて、そこからタブレットを使って学習していけるような流れになっている教科書が多かったです。

問3 スタートカリキュラムは教材独自の視点としてあり、扱うページがそれぞれ違うみたいですが、これはあった方が良くという認識でしょうか？

答3 幼児期から小学校1年生の繋ぎとしてとても大切な活動なのでそのページはあった方が良くと思います。

〈協議概要〉 全会一致

〈採択結果〉 生活：教育出版

7 社会（種目責任者・種目代表者 説明資料）

問1 防災の項目を報告の中であまり触れてなかったみたいですが、防災の項目を見た感じ教科書の扱いはどうでしたか？

答1 どの教科書も見開き2ページで、1時間分という授業内容です。そして防災についてこの課題を考えるという方針が記載されていました。QRコードやグラフ等資料が多用されていて見やすいと感じました。

問2 郷土の農業に触れている教科書はありましたか？ またその他分野として郷土のことに触れている箇所はありましたか？

答2 農業では話題にあがりませんが、日文の教科書は大分市のゴミについて調査員から発言がありました。

問3 その他調査員からの意見はありますか？

答3 教科書が上下巻分かれているよりも、1冊にまとまっていた方が学習の振りかえりを行う場合などに良いという調査員間の意見になりました。

〈協議概要〉 全会一致

〈採択結果〉 社会：教育出版

7 地図（種目責任者・種目代表者 説明資料）

問1 地図帳は3年生～6年生まで4年間使いますが、3年生でもわかる記述でしよ

うか？

答1 最初は人間の目線、次に鳥の目線、地図の目線になるという鳥瞰図になったり地図になったりしながら、だんだん普通の地図になっていくという作りになっていくという構成になっています。

問2 QRコードの数に差がありますが子ども達にとって多すぎるということはないですか？

答2 授業の冒頭で今日使用するQRコードのことを説明すれば大丈夫だと思います。自主的に色々調べたい子どもにとってもその点はマイナスにならず色々あり良いと感じるのではないかと思います。

〈 協議概要 〉 全会一致

〈 採択結果 〉 地図：帝国書院

8 図画・工作（種目責任者・種目代表者 説明資料）

問1 日文には田能村竹田の関係の取扱いはありませんか？

答1 墨を使って絵を描くという活動はありましたが、芸術作品として取扱いはなかったと思います。

問2 「あわせて学ぼう」というものがありますが、これは今までもありましたか？

答2 コーナーとしては無かったと思います。両教科書ともコーナーがありますが、開隆堂は開いて右下にどのページにも大体、「国語の～」や「算数～」という感じで表示されています。ただ教科名だけではなく、国語なら国語のどういう単元と学習が一緒に出来るか細かい提案がされています。

日文については同じく右下に「つながるまなび」としてありますが、表示があるページと無いページがあります。また教科名のみ記載、例えば「キャリア教育」や「社会」の表記だけなので内容についての表記はありません。

問3 このコーナーは図工で活用できますか？

答3 図工が得意な人とそうでは無い人がいると思いますが、ずいぶん研究されているなと思いました。QRコードがやはり生きていて開隆堂では、はじめにというところの導入のところからキャラクターが出てきて、全ての単元で話しかけるというのがあります。そして両方の教科書共に下の方に、「片付け」や「まとめ」の提案があるので色々な立場の方が扱いやすくなっていると感じます。

問4 電動糸ノコのような危なそうな機械も授業で使っていますか？

答4 使っています。以前は教員自身がインターネット等からその使い方の動画を探し

て予習する必要がありましたが、今回の教科書はQRコードの動画としてセットされているおかげでとてもありがたいです

〈 協議概要 〉 全会一致

〈 採択結果 〉 図画・工作：開隆堂

9 家庭科（種目責任者・種目代表者 説明資料）

問1 開隆堂は「キャリアインタビュー」、東京書籍は「プロに聞く」というものがありますがその辺りの評価が分かれるところが何かありますか？

開隆堂では登場する子どもや大人に黒人の方が混じっていたりしますが、多様な人種とかそういった観点が何かありますか？

答1 1点目について、違いとしては東京書籍の「プロに聞く」は「人」ではなくそれぞれの専門の「プロ」に視点を当てて聞くという内容です。対して開隆堂は「人」に視点を当て「その人」に聞くという違いになっています。内容的に多岐にわたるのは東京書籍でした。

2点目について、昔から家庭科は共生というものを大切にできています。自然や環境、人種もありますし家族についてもあります。家族については両親がいて、祖父母がいるというような家族ではなく、色々な形の家族があるということをあまり写真では扱わずにイラストで扱われています

問2 開隆堂では「中学生までの成長を確認出来るように示されている。」とありますが、これはどのように評価していますか？

答2 家庭科は自分の生活を支えていく教科です。5、6年生で自分の誕生から中学生までの成長の基礎的なことを身につけて中学校の学習へ繋げていくという役割があります。誕生から中学生まで一部分を1ページ半割いて大きく扱っています。東京書籍は同じような感じですが1ページ分しかありません。しかし学習内容が一目でわかるように上段に中学校までの成長に向けてというのを掲載していて、下段に学習する内容を示しています。その過程の中でどういふことを学習するかすぐわかるような作りになっています。どちらの教科書も5、6年生での学び、そしてどうやって中学校に繋げていくかを大事にしているようです。

〈 協議概要 〉 全会一致

〈 採択結果 〉 家庭科：東京書籍

10 保健（種目責任者・種目代表者 説明資料）

問1 記述できる箇所が多いというのは授業を行う上で非常に有効なのでしょうか？

答1 はいそう思います。

問2 子ども達に記述させて答えていくということは時間が多く必要になると思いますが、それを含めた時間の単元構成になっているということでしょうか？

答2 記述が多すぎても若干困るところがありますが、ある程度最初に自分の考えを持っている記述設定がされています。それとグループの活動とまとめや振り返りの部分があるので教科書発行会社はそれを含めて1時間で終了する単元構成にしていると思います。

問3 今問題になっている性的指向についての扱いはいかがでしょうか？

答3 東京書籍が性的な指向を「ものさし」と表記し、自分らしさは「体の性」「心の性」「好きになる性」「表現したい性」の4つのカテゴリーを組み合わせで記述しています。これは一つ踏み込んでいるので特徴的だと思います。学研が心の姓と体の姓とを区別して表記しているところが他の会社と違うと思います。

問3 QRコードについては報告書にあまり記載がありませんがいかがですか？

答3 東京書籍がQRコードを扱う数が多いなと思います。動画の資料が多いと思いますが、東京書籍は映像資料だけでなくQRコードからワークシートをダウンロードすることが出来て、教科書だけではなくそれを使って授業が出来る構成になっています。その他の会社は資料だけでなく動画資料があります。

問4 LGBTという言葉を使う、使わないということに何か意味がありますか？

答4 LGBT(Q)まで含めて、「性の多様性」という表記が記載されていれば問題無いと思います。今回1社だけLGBTという表記があって、他の会社はないという結果でした。各教科書とも子ども達に単純に外見だけの男、女だけではないという考えが配慮されていると思います。

〈 協議概要 〉 全会一致

〈 採択結果 〉 保健：東京書籍

11 道徳（種目責任者・種目代表者 説明資料）

問1 ルビを表記しているところと表記していないところについては、その学年で習っていないところだけにルビを表記しているということですか？

答1 そうだと思います。前のページにはルビを表記し次のページではルビを表記されていないということがありました。文字を読むのが苦手な子どものために

ルビを表記してくれているのだらうと思いましたが、ルビを表記するのであれば全ページ表記して欲しいと感じました。習っていない字だけではありませんでした。

〈 協議概要 〉 全会一致

〈 採択結果 〉 保健：光文書院

12 英語（種目責任者・種目代表者 説明資料）

問1 小学校では英語が喋れるようになることが目的で、何か書けるようになることが目的ではないということでしょうか？

答1 小学校では英語で表現することを書かなければいけないというところまではいきません。書く活動としては自分が表現する文章を書けるというところで終わります。教科書会社によっては、b e 動詞と一般動詞が一緒になって4つの文章を構成するところもあります。また、一般動詞のみの文章の構成、助動詞のみの文章の構成など各会社で特徴があると感じています。

問2 中学校の英語でまたb e 動詞の文章から勉強が始まる様な感じですか？

答2 中学校の教科書もまた少しずつ変わってきています。豊後大野市も竹田市も小中連携を推進しているので小学校から中学校への接続をきちんとしていこうと取り組み強化を進めているところです。

問3 聞くことに関しては動画でカバーされているのですか？

答3 音声プラス動画で対応しています。聞く活動に関してはQRコードでも確認出来ます。デジタル教科書からもリスニングを流しています。

問4 中学校との連携も考慮すると思いますが、中学校の教科書と小学校の教科書の関連を調査研究の段階で何か意識した点はありますか？

答4 中学校が三省堂のNEW CROWNを使用しているので、中学校との連携、小学校と中学校の接続という点で意識しました。

〈 協議概要 〉 全会一致

〈 採択結果 〉 英語：三省堂